

2022年 6月24日

報道機関 各位

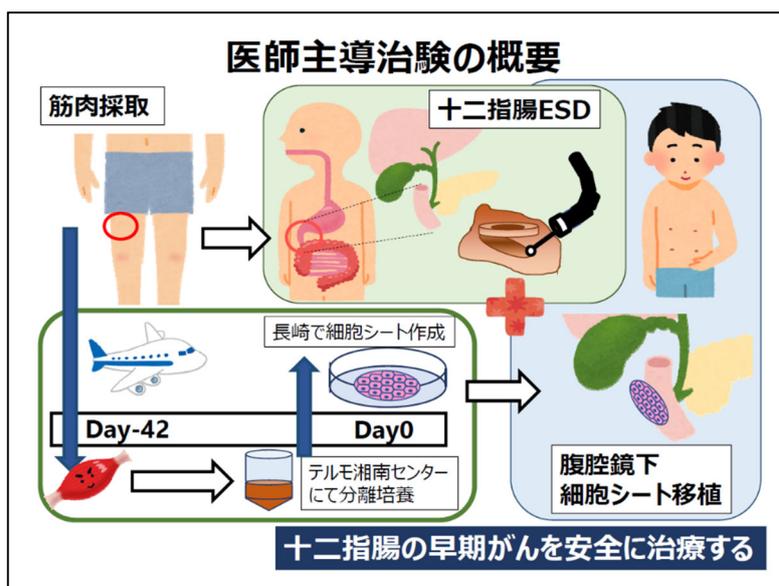
十二指腸腫瘍に対する再生医療を用いた医師主導治験1例目の手術が成功

<記者会見開催のお知らせ>

長崎大学病院では、患者自身の細胞を用いて作製する「細胞シート」の技術を十二指腸腫瘍の手術に応用する新規手術術式の医師主導治験を2021年4月より開始しております。

当該術式は、本学とテルモ株式会社との共同研究講座である「消化器再生医療学講座」の金高賢悟教授らの研究グループが開発し、十二指腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術(ESD)後の重篤な合併症である穿孔(せんこう)(※1)を細胞シート貼付にて予防するもので、腹腔内(※2)に細胞シートを移植するという点で世界初の再生医療研究の試みです。

※1 : 管腔臓器の壁に穴が開くこと (※2) : 内臓がある、お腹の中の空間のこと



6月8日、当該術式にて1例目の手術を行いました。また、術後の経過は良好で患者さんは無事退院されましたので、ここまでの成果を説明する記者会見を下記のとおり開催します。

記

- 日時 : 2022年6月28日(火)14:00~15:00
- 場所 : 長崎大学医学部 良順会館(長崎市坂本1-12-4)
- 説明者 : 中尾 一彦 病院長
江口 晋 大学院医歯薬学総合研究科 移植・消化器外科学 教授
金高 賢悟 大学院医歯薬学総合研究科 消化器再生医療学講座 教授
橋口 慶一 病院光学医療診療部 講師

恐れ入りますが、取材ご希望の方は6月 27 日(月)までに、下記取材申し込み先までご連絡をお願いいたします。

【本リリースに関するお問い合わせ・取材申し込み先】

長崎大学病院総務課(広報・評価)高藏

TEL:095-819-7790 MAIL: mhweb@ml.nagasaki-u.ac.jp